

## 7. 成果の発表

### 1) 学会発表等

- R4. 5. 29 第 91 回日本寄生虫学会  
「ニジマス<sup>1</sup>の筋肉微胞子中の感染経路と病害性」 山本充孝・ 北海道  
菅原和宏他
- R4. 6. 27 令和 4 年度全国養鱒技術協議会魚病対策研究部会  
「ミズカビ病によるアマゴとビワマス稚魚の大量死」 菅原和宏 web
- R4. 8. 23 15th International Congress of Prarasitology  
「A novel microsporidian disease in farmed salmonids:determination of transmission route and pathology.」 山本充孝・ デンマー  
菅原和宏他 ク
- 「A novel microsporidian disease in farmed salmonids:multi-host transmission utilizing fish and crustacean hosts.」 山本充孝・ デンマー  
菅原和宏他 ク
- R4. 9. 4 令和 4 年度日本魚病学会秋季大会  
「スジエビ寄生微胞子虫の魚類への感染様態の解明と 山本充孝・ 宮崎県  
定量感染実験系の開発」 菅原和宏他
- R4. 9. 17-20 2022 年度日本魚類学会年会  
「滋賀県内の在来イワナ個体群の絶滅・減少事例」 幡野真隆・ 大阪府  
吉岡剛
- 「琵琶湖水系瀬田川洗堰上流に侵入したチャネルキャットフィッシュの個体数の抑制」 石崎大介・ 大阪府  
田口貴史他
- 「琵琶湖南湖および瀬田川におけるチャネルキャットフィッシュの食性Ⅰ（胃内容分析）」 石崎大介他 大阪府
- 「琵琶湖南湖および瀬田川におけるチャネルキャットフィッシュの食性Ⅱ（安定同位体比分析）」 石崎大介他 大阪府
- 2022 年度日本水産学会近畿支部例会 石崎大介 web  
「琵琶湖で放流された養殖ウナギの成長と漁獲加入年齢」
- R4. 9. 27-28 第 36 回近畿中国四国ブロック内水面魚類防疫検討会議  
「ウナギ、ギンブナ、ホンモロコの冷水病発病事例および分離株の型判別」 菅原和宏 web
- R4. 11. 28 ほんもろこシンポジウム 滋賀県  
「ホンモロコ資源の現状」 根本守仁
- R4. 11. 30-12. 1 令和 4 年度 魚病症例研究会  
「琵琶湖で採捕されたアユにおける異型細胞性鰓病原 菅原和宏 web  
因ウイルスの保有状況」
- R5. 2. 17 令和 4 年度アユの疾病研究部会  
魚病を予防する研究 菅原和宏 東京都

- ー今年度実施している4つの共同研究の成果からー
- ・ R5. 3. 13-14 令和5年度日本魚病学会春季大会  
 「環境DNA分析によるアユ飼育水中の魚病細菌モニタリングとそれを踏まえた魚病対策」 菅原和宏 神奈川県  
 「微孢子虫 *Inodosporus fujiokai* の魚種別感受性の比較による養殖魚のリスク評価」 菅原和宏、山本充孝 神奈川県
  - ・ R5. 3. 28-31 令和5年度日本水産学会春季大会  
 「イワナ禁漁区からしみだした稚魚の下流への資源添加効果」 幡野真隆・吉岡剛・菅原和宏・片岡佳孝 東京都  
 「アユのスレ症において塩水浴が体表の治癒に与える効果」 菅原和宏 東京都  
 「ニホンウナギ・ギンブナ・ホンモロコから分離された冷水病菌① 感染魚の症状と死亡状況」 菅原和宏 東京都  
 「琵琶湖南湖におけるホンモロコ自然産卵の回復」 片岡佳孝・根本守仁 東京都  
 「琵琶湖に放流された養殖ウナギの成長と漁獲開始時期」 石崎大介他 東京都

## 2) 論文投稿など

- ・イサザ仔魚 *Gymnogobius isaza* の浮遊期における鉛直分布と初期餌料 日本水産学会誌 88(6), 463-471, 2022 幡野真隆・上野世司(水産課)
- ・滋賀県の養殖現場および天然水域における魚病対策と課題 アクアネット、2022年10月号、p33-37 菅原和宏
- ・ヤマメ・アマゴの種苗放流の増殖効果の検証 水産技術 15(1)17-38 2022年 中村智幸、岸大弼、徳原哲也、片岡佳孝、亀甲武志、菅原和宏
- ・琵琶湖および流出河川瀬田川におけるチャンネルキャットフィッシュの生息状況 魚類学雑誌 69(1), 75-85, 2022 石崎大介、臼杵崇広、三枝仁、上垣雅史、田口貴史、根本守仁、酒井明久
- ・Molecular and morphological description of a novel microsporidian *Inodosporus fujiokai* n. sp. infecting both salmonid fish and freshwater prawns. Parasitology 150(1) 1-14 2022 山本充孝、菅原和宏他
- ・Recovery of white-spotted charr *Salvelinus leucomaenis* following the removal of stocked red-spotted masu salmon *Oncorhynchus masou ishikawae* in a small headwater tributary of Lake Biwa, central Japan. Fisheries Science 89(1) 1-9 2022 菅原和宏、片岡佳孝、石崎大介他
- ・Current genetic status of Nagaremon-charr, a threatened morphotype of *Salvelinus leucomaenis* in the Ane River, Lake Biwa system, central Japan, with comments on its conservation. Zoological Science 2022, 39:242-252 菅原和宏、片岡佳孝、石崎大介、吉岡剛他

## 3) 講師派遣

- ・ R4. 7. 30 早崎内湖ビオトープ 根本守仁 長浜市  
夏の観察会
- ・ R4. 9. 5 彦根市立旭森小学校「琵琶湖琵琶湖の魚と漁業 太田滋規 彦根市  
湖環境学習」

- ・ R4. 10. 4 彦根市立城東小学校「見つ 琵琶湖の魚と漁業 太田滋規 彦根市  
めよう！母なるびわ湖」
- ・ R4. 11. 17 長浜市立びわ南小学校「わ びわ湖のアユの一生 太田滋規 長浜市  
が町びわの再発見」 とアユの調査
- ・ R5. 1. 20 彦根地方气象台 気象と琵琶湖漁業 太田滋規 彦根市

#### 4)職員研修等派遣

- ・ R4. 6. 27-7. 1 計量魚群探知機を用いた 水産研究・教育機構 佐々木賀治 茨城県  
音響調査手法に関する研修 水産技術研究所
- ・ R4. 10. 26-27 令和4年度栽培漁業若手 水産研究・教育機構 寺井章人 Web  
研修 水産技術研究所